

## 認知症の進行を抑える薬（レカネマブ）について（案）

2023年12月に発売となった「レカネマブ」は、アルツハイマー病の原因に働きかけて病気の進行自体を抑制する薬としては、国内で初めて承認された薬です。この薬の使用により、認知機能障害の悪化が有意に（18ヶ月で27.1%）抑制されたことが報告されています。

### ① 投与方法

- ・ 2週間に1度、約1時間ほどかけて点滴で投与します。
- ・ 週2回の点滴の為の通院と、定期的なMRI検査が必要です。投与期間は1年半が目安です。

### ② 投与対象者

- ・ 投与対象者は、厚生労働省の「最適使用推進ガイドライン」で決められています。
- ・ 症状が比較的軽い人が対象です（症状が無い方、及び認知症が進行している方は対象外）。
- ・ 以下の検査により、脳内にアミロイドβの蓄積が確認された方が対象です。

#### 【検査内容】

○放射性同位体を使ったアミロイドPETによる検査、または脳脊髄液（CSF）検査

※アミロイドPET：放射性薬剤を注射で静脈から身体の中に投与し、

その後、PET装置で頭部の撮影を行う検査です。

※脳脊髄液（CSF）検査：腰椎に針を刺し、脳脊髄液を採取する検査です。

○その他、MRIによる画像検査や、認知症の心理検査等



### ③ 副作用

- ・ 使い始めの初期に、頭痛、寒気、発熱、吐き気などが現れることがあります。また、特に使い始めて数ヶ月以内に、脳が腫れたり、脳に少量の出血が生じたりするなどの報告があります。
- ※レカネマブの製造販売後の使用患者の背景情報の把握並びに安全性及び有効性を評価するため、医療機関には全例調査が課せられています。